

令和5年度 越谷市の森林環境譲与税の活用事例を紹介します



木育イベント

9月16(土)・17日(日)にイオンレイクタウンで開催されている参加型体験イベント「レイクタウン・アクト・グリーン・エコウィーク」で木育イベントを実施しました。森林環境譲与税を活用した木育イベントは4回目となります。計520名の子どもたちが参加しました。



こしがやSDGsパートナー オリジナルピンバッジ・登録証盾

令和5年2月から始まった「こしがやSDGsパートナー」の登録者へ盾とピンバッジを配布しています。
材料には埼玉県内の森林を整備した際に発生した間伐材を利用しています。

こしがやSDGsパートナー
についてはこちら ▼ ▼ ▼ ▼



えんぴつ

令和4年度より秩父地域森林林業活性化協議会と協働でえんぴつを作成しています。「レイクタウン・アクト・グリーン・エコウィーク」などのイベントや環境学習などで配布し、森林環境譲与税のPRなどに利用しました。秩父地域の間伐材を使うことは森を守ることにつながります。



令和5年度 越谷市の森林環境譲与税の活用事例を紹介します



木育推進事業

令和4年度から保育園などの市内就学前児童施設の5歳児を対象に、国産木材で作った積み木を配付しています。
令和5年度は計1,311名の子供たちに配付しました。
木のぬくもりを肌で感じながら、森林の大切さなどを学んでいます。



エントランス棟の木製家具

令和5年度に完成した新庁舎（エントランス棟）のエントランスホール及び市民ラウンジ等に国産材を利用した木製備品を設置しました。新庁舎は、「市民に親しまれる庁舎」「愛着が持てる庁舎」を基本理念に掲げており、訪れた方々に木のぬくもりを身近に感じていただくことができるよう採用しました。



木製コンポスト“越谷キエーロ”

越谷キエーロとは「非道電動型の生ごみ処理機」のことです。本体の製作から行う工作教室およびモニター講習会の両教室を開催し、計178名の方が参加しました。
ごみ減量やリサイクルの普及啓発を目的としており、材料に埼玉県産材の木材を利用しています。

